

1993年10月5日

インボード2基掛けのミニマムボート

スポーツフィッシャーマン

『SF - 31』

新 発 売

ヤマハ発動機株式会社では、スポーツフィッシャーマンの機能と性能を31フィートに凝縮したインボード2基掛けのフライングブリッジ付きミニマムボートとして、4級小型船舶操縦士免許で乗れるニューモデル『SF - 31』を新たに開発しました。本年12月1日より発売を開始いたします。



ヤマハ『SF - 31』

<東京店頭渡しメーカー希望小売価格> 23,500,000円

※ヤマハ・ディーゼルSX - 420KM (240馬力) × 2基掛

※法定安全備品を除く ※消費税は別途

<販売計画隻数> 200隻/3年

ヤマハ発動機株式会社

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500
東京広報課 ● 〒104 東京都中央区銀座

TEL.0538
TEL.03

FAX.0538
FAX.03

<市場背景と商品の概要>

ボートフィッシング・ファンの究極の夢はといえば、やはり大物釣りに尽きます。魚を求めてより外洋へと出かけ、時を忘れてファイトする醍醐味は、ボートオーナーとしての満足度をさらに高め、より本格的なボートフィッシングへの道へと歩ませます。なかでも、そうした傾向が顕著に表われているのが、スポーツフィッシングの世界。一定のルールの下で釣りの腕を競い合うこのスポーツは、トーナメント開催の増加とともにその人口を着実に増やしているのです。

今回開発した『SF - 31』は、まさにそうした上昇志向のボートフィッシング・ファンを想定して提案したモデルであり、オーソドックスなフィッシングボートとしてのスタイルを持ちながらも、トーナメントに出場可能な機能と性能を備えた4級小型船舶操縦士免許で操船可能なスポーツフィッシャーマンとして誕生しています。

<『SF - 31』の主な特徴>

1. 外観および機能について

● スポーツフィッシャーマンとしての機能を充実

フラットデッキとセミウォークアラウンドタイプというフィッシングボートのオーソドックスなフォルムを踏襲し、バウ・サイド・アフトの各デッキの全てが釣りスペースとなり、底釣りやルアーフィッシング等のスポーツフィッシングが楽しめます。アフトデッキにデッキ一体強制循環イケス対応物入れと魚調理や片付けの際の手洗いやタックル洗浄用のギャレーを配置、本格的なスポーツフィッシング等の艤装を考慮し、基本的に追加される部品についても多くの改造を要さずして取付けを可能としています。

● 機能的かつゆとりのフライングブリッジ

フライングブリッジは定員3名を確保しています。フライングブリッジラダーをドライバーズシートの後方に配して、ファイティング時のドライバーの後方視界を確保しています。また、シートの耐水性や座り心地を改善したほか、コクピットはGPS魚探取付けスペースなど機能的なレイアウトを施しています。

2. インテリアについて

● ロングクルージングに適した居住性を実現

キャビン内に4名のパッセンジャーシートとバウバースに余裕の仮眠スペースを合わせ持つ、ロングクルージングに適した居住性を実現しています。また、効果的な防音・防振対策を施したのをはじめ、エアコンのオプション設定を可能として快適性の向上を図っています。

● フィッシングを意識した収納レイアウト

パッセンジャーシート下には釣り具の収納スペースを確保したほか、キャビン内入口右側にタックルボックスを配置するなど、フィッシングボートとしての使いやすさを追求しています。

3. 性能特性について

● インボード2基掛けの4級免許上限艇

パワーユニットは、軽量・コンパクトかつハイパワーを誇るヤマハ・インボードディーゼル『SX - 420KM』を2基搭載して、信頼性を増しています。また、これにより操船性も高まり、とくに離着岸時の回頭性の向上を図っています。

● 凌波性、安定性、スピード性能を高めた船型

船型は外洋走航を留意し、船首V角度の鋭角化により波に対する衝撃を和らげ、前傾ステムにより波越えをスムーズにさせ、さらに大きなフレアで波かぶりを押えた設計を施しています。また、チェーン幅の拡大により走航安定性を高めるとともに、舵やブラケット等の付加物抵抗削減を行いスピード性能を向上させました。

開発担当者のコメント

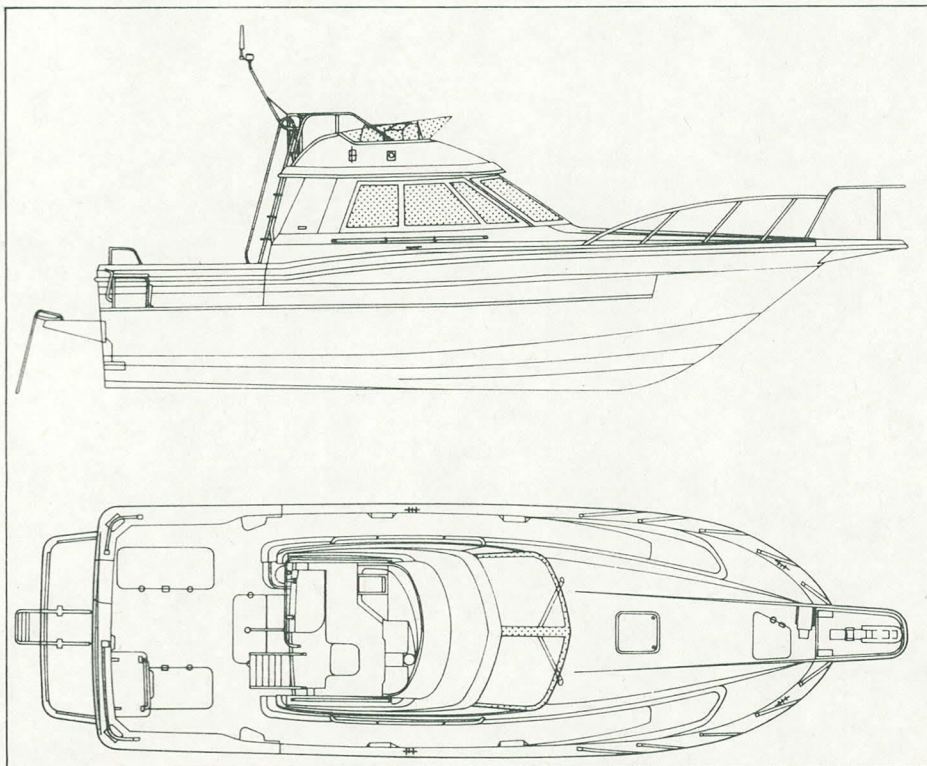
4級免許の多くのユーザーからの、5トン未満でフライングブリッジ付きの2基掛けボートを要望する声に対して、開発したのがこの『SF-31』です。

当社のコンパクトなインボード・ディーゼルが開発されたからこそ実現したこの企画ですが、とはいえ、その過程では技術的課題に数多く直面し、かなりのシミュレーションが繰り返されました。なかでも、各部の設計にあたっては、実物大模型を作って実際に体を動かす中で検証を行い、乗り手の立場に立った設計に心掛けました。

今は、より多くの人びとに、ビッグなスポーツフィッシングの醍醐味を味わっていただければと願っています。

舟艇事業部技術部第2プロジェクト
設計担当 山田利治

<『SF-31』のプラン>



<『SF - 31』主要諸元>

全 長 : 9.48m
10.29m (バウスプリット含む)
全 幅 : 3.19m
全 深 さ : 1.77m
完 成 重 量 : 約4.4t
エ ン ジ ン : SX - 420KM × 2 基
(呼称最大馬力) (240馬力×2)
燃料タンク容量 : 600 ℓ
清水タンク容量 : 100 ℓ
総 ト ン 数 : 5トン未満
航 行 区 域 : 沿海
定 員 : 12名

<カラーリング>

ハ ル (艇体) : ホワイト
デ ッ キ : ホワイト+ブラック